



栗原小だより

新座市栗原 1-5-1 TEL 042-473-7070
HP <http://www.c-niiza.ed.jp/e-kurihara/>

～学校教育目標～
よく考え学ぶ子
心のゆたかな子
たくましい子

令和元年度 10月号
令和元年 10月 1日



学力・学習状況調査の結果分析について

校長 保戸田 雅之

2学期も1ヶ月が過ぎ、少しずつ秋の気配を感じるようになってきました。さて、恒例となりましたが、今年4月に行われた学力・学習状況調査の結果についてお知らせします。はじめに、6年生対象の「全国学力・学習状況調査」です。下の表の数字は、全国や県の平均正答率(%)と比較した差を表して下回る結果となりました。

【全国学力・学習状況調査：全国・県との比較】

教科	全国	埼玉県
国語	-2.8	-3
算数	-2.6	-2

内容的に見ると、国語は、「書くこと」(条件に沿って作文する問題や文章を正しく直す問題など)、算数は、「量と測定」(長さや重さ、面積、体積などを求める問題)に苦戦したことが分かりました。また、4年生以上対象の「埼玉県学力・学習状況調査」の県との比較です。大きく開きはないものの、5年生の国語を除いて、すべて県を下回っています。

【埼玉県学力・学習状況調査：県との比較】

教科	4年	5年	6年
国語	-0.8	+2.3	-1.5
算数	-0.1	-1.9	-2.2

内容的には、以下のような傾向でした。
(◎…優れている ▲…劣っている)

【国語】

- 4年 ◎読む能力 ▲漢字・文法・辞書活用
- 5年 ◎書く能力 ▲話す・聞く能力
- 6年 ▲文法・慣用句

【算数】

- 4年 ◎数学的な考え方 ▲図形
- 5年 ▲小数の計算 ▲図形
- 6年 ▲小数・分数の計算 ▲図形

国語は、語彙力の弱さが見えました。やはり、読書量との関係が大きいです。算数は、どの学年も図形が弱点です。図形を描いたり立体を作ったりするなど、空間認識を高めたいと思います。また、県の学力調査の特徴でもある「学力の伸び」を見てみると、6年生が伸びている一方、5年生がやや停滞気味であることがわかりました。さらに分析を進め、授業改善に取り組んでいきたいです。

質問紙調査は学年によって違いがありますが、共通して意識が高かったのは、「勉強して大切だと思ったところは、言われなくてもノートにまとめる」という学習の仕方です。友達と協力して学習を進める意識も高いです。また、掃除やあいさつ・返事は、学年が上がるにつれて「できている」割合が高くなり、逆に読書量は減っていく傾向でした。学校としての傾向だけでなく、学年や個々の特性にも注目して対策を工夫していきます。

ご家庭に配付した個人票をもう一度見直していただき、県HPの「復習シート」を活用するなど、家庭学習の充実にもご協力をお願いいたします。「埼玉県学力・学習状況調査」で検索していただくと、様々な資料がダウンロードできます。

One Team

「これだけの人数になると、何人かは勝手なことをする子がいるものですが、本当によくまとまっている学校ですね。」

と、宿泊先で、ホテルの方に褒めていただきました。

9月11日、12日の1泊2日、6年生が日光へ修学旅行に行ってきました。あいさつやマナーの良さはいつものことで、最初に訪れた富弘美術館でも「近年まれに見る態度の良さ」とスタッフの方に言われるくらいでした。しかし、それ以上に嬉しかったのは、ホテルの方にチームワークの良さを認めていただいたことです。

日本で開催されているラグビーワールドカップで、日本代表が掲げるスローガン「One Team」に通じるものがあります。「一人一人がどう行動すべきか考え、支え合う」これが、当たり前でできる6年生。改めて、栗っ子の誇りを感じた2日間でした。

